

NPO 自立支援センター ふるさとの会

2007.02.20
【第2号】



これはHTML形式のMAILです。オンラインで無い場合は画像が表示されない可能性があります。

[HOMEPAGE](#)

[SCHEDULE](#)

[EVENTetc](#)

※ふるさとの会のメールマガジンをご愛読いただき、誠にありがとうございます。
今後もふるさとの会の活動内容を定期的に情報発信させていただきたいと存じます。
ご不要の場合はお手数ですがご返信くださいますようお願いいたします。

INDEX

- ①ホテル三晃にて第三者委員～なんでも意見交換会～を開催！
- ②合同行事報告 ユートリアプラネタリウム～向島百花園
- ③浜川荘の技能講習レポート
- ④事業所探訪
 - その3技能講習ステーション
 - その4グループホーム鳩のそば
- ⑤ふるさとの会新年会報告
- ⑥今月のボランティア募集

1.ホテル三晃にて第三者委員～なんでも意見交換会～を開催しました

自立援助ホーム「ホテル三晃」にて、第三者委員の方々と利用者の皆さんによる“なんでも意見交換会”を、2月10日土曜日に開催しました。

ふるさとの会では、利用者さんが安心して苦情や不満を言うことができるよう、施設運営をする職員とは違う第三者の立場で利用者さんの意見を率直に聞けるようにするため、「第三者委員会」を設置しています。委員長の鈴木亘さんは意見交換会の開催にあたって「ホテル三晃では、平成18年5月頃から利用者さんが施設運営に関して意見が言えるよう目安箱を設置しました。設置当初はたくさんの投書がありました。最近では少なくなってきたので、第三者委員と直接話し合える場があるといいかなということで、今回こういったなんでも意見交換会を開催しました。皆さんが自由闊達に意見を言える場にしていきたくと思っています」と述べられました。

ホテル三晃の有村・内山職員からも、「充実した施設運営のため、大変意義のあることだと思います」と言っていました。

(金井麻衣子)



ホテル三晃の1階と5階にそれぞれ設置された“目安箱”

利用者さんの声に熱心に耳を傾ける第三者委員

♪一口MEMO 「第三者委員会」とは？♪

ここでいう第三者委員会とは、正式には「苦情解決のための第三者委員会」と言い、利用者の権利を守り、また、サービスの質の向上を図りつつ、適切な利用をしていただけるようにする機関です。

2.地域生活支援センター行事報告(ユートリアプラネタリウム～向島百花園でお弁当)

今月の外出行事は、すみだ生涯学習センターユートリアでのプラネタリウム鑑賞と、向島の百花園に行きま

した。台東地域の利用者は三晃の一階に集まり、車椅子に乗ってもらい介助を受けながら行った方が6人、歩けるのでバスで行った人が15人ほど。プラネタリウムで墨田地域の参加者と合流しました。プラネタリウムでは、墨田区を上空から撮った映像を見た後に、東京の夜空を再現してもらいながら、星の説明を受けました。もし空気がきれいなら、東京の夜空でも、物凄い数の星が見えることに参加者もびっくりしていました。

新潟出身のOさんが、流れ星が無かったな、と呟きました。「もし、あのプラネタリウムにさあ、流れ星が頻繁に出たら、本物の夜空だよ」と言いました。また、JICAの派遣でサモア在住経験のある、ふるさとホテル三晃の田辺館長は、「サモアは、こんなもんじゃなかった。サモアなら、星が出ると影ができる」と言っていました。向島の百花園では、咲き始めた数々の花を見ながらお弁当を楽しみました。今年は暖冬なのに、開花している花は少なかったですが、参加した皆が数少ない外出の機会を楽しんでいました。

(大塚直史)



早くも咲き始めた気の早い桜



車椅子の利用者も一緒に小春日和を楽しみました

3.浜川荘の技能講習レポート

更生施設浜川荘は、男性単身者を利用対象とする生活保護法に基づく保護施設で、定員は180名となっています。

ふるさとの会では、浜川荘で就労前支援としての技能講習を行っています。一般的な技能講習では、受講者の資格取得が目的となっていますが、ここ浜川荘では特に、就労意欲を喚起したり、自立へのステップとなるような講習に取り組んでいます。

平成18年度については、週1回の地域清掃講習(1時間)、造園講習(2時間)、月1回の品川区民公園の清掃講習(午前・午後計4時間)と月2回のパソコン講習(午前・午後計4時間)を行っています。具体的な内容として、地域清掃講習では、浜川荘の周辺を清掃し、落ち葉やゴミ拾いの他、設置した灰皿の掃除を行っています。造園講習では花壇づくりや野菜づくりなどを行っています。

浜川荘の講習を担当している当法人の柏倉職員にコメントをもらいました。

「参加者の皆様には「体力の回復」を図ると共に、清掃区域のチーム分担による「協働作業」を行い、就労に向けてステップアップしていく講習を行っています。初めて参加された方や、継続して参加されている方々から「次回も参加するよ」という言葉をかけられた時は本当に嬉しく感じ、更に沢山の方々に参加していただけるよう日々勉強を続けています」

浜川荘担当職員からは「地域で清掃を行っている、地域住民から「ご苦労様」「お疲れ様」と声掛けされ、利用者のやりがいに繋がり、今では地域社会に認められるようになってきました」また、「ふるさとの会が就労前支援という目的を明確にしてノウハウを提供してくれているので助かっています」とのコメントをいただきました。

地域清掃講習に参加した利用者さんと話す機会がありました。その利用者さんは、脳梗塞を経験し、軽度の左麻痺が残っているため「地域清掃が、自分のリハビリになっているのだ」と言っていました。外から見れば普通の清掃に見えますが、その利用者さんにとっては、とても大切な時間を過ごしていることに気がついた一日となりました。

(西川雄啓)



浜川荘周辺の地域清掃を行う



チームでの共同作業も仕事を続けていくのには大事なこと

4.事業所探訪 その3&その4

♪その3 ～技能講習ステーションふるさと～♪

技能講習ステーションは厚生労働省の委託事業です。支援対象者は就労自立を目指す緊急一時保護センターや自立支援センターの入寮者が中心で、技能講習ステーションの職員は東京23区内に10ヶ所ある自立支援システムの施設に訪問し、自立に向けた安定就労に繋がるように彼らに向けて資格習得の支援を行なっています。

技能講習の受講者で就労自立に至る割合を職員に尋ねると、「50%を少し超えるくらいしか・・・ですかね」と寂しそうに言いました。「50%も、いるんですか」と、私は少し驚きながら応えました。多分偏見を持って、話を聞いていたのでしょう。路上生活を経験された方に、そんなに簡単に仕事が見つかるとは思っていなかったからです。

現在の技能講習のメニューはフォークリフト、クレーン、玉掛、ガス溶接などの土木系の資格から、どのような仕事に就く上でも必要とされるパソコン講座、求人票の多い清掃についての講習まで様々です。

技能講習ステーションでは就労自立率をもっと高めるため、資格だけにとどまらず、雇用側が求める即戦力としての人材へと自立支援システム利用者を導く、より実践的な講習メニューを加えていかなければならないと考えているということです。

自立支援センターの施設は期限があることから、仕事が見つけれられるかの不安は計り知れないと思いました。技能講習のメニューをより豊かにすることで、彼らの就労自立率が少しでも上がることを祈っています。
(大塚直史)

♪事業所探訪 その4 ～グループホーム“ふるさとホーム”～♪

今回お邪魔したのは、ふるさとの会が運営するグループホーム“ふるさとホーム”です。

ふるさとホームは、平成18年8月にお引越しをし、現在は地域生活支援センターすみだのすぐ近くに位置しています。

精神障害をお持ちで、一定の自活能力がある方々が暮らしています。定員は2軒のグループホーム併せて4名。プライバシーの守れる個室での生活が特長で、利用者さんの自立性を尊重した作りになっています。

利用者のAさん・Kさんにふるさとホームを案内していただいた後は、ふるさとホームの利用者や移行支援事業参加者・自立支援センター退所者・そしてふるさとの職員などなど皆さん揃ってのお食事会(毎週木曜開催)に参加させていただきました。

わきあいあいと会話が弾む食卓で、アットホームな雰囲気を感じられました。

(金井麻衣子)



グループホームのリビングで寛ぐ利用者 この日の料理はオムレツでした みんなで囲む食卓は和やか

5.ふるさとの会新年会報告

ふるさとの会では、2月11日曜日に職員慰労を兼ねた新年会を開催しました。節分も過ぎた暦の上でも文字通り春になってからの新年会でしたが、35名を超える多くのご来賓をお迎えして、職員40名を加え、にぎやかな会になりました。

料理は2年目を迎えた入谷給食センターに用意してもらいましたが、今年は腕自慢の職員がその場で江戸前ずしを握ってお出し大いに盛り上がりました。

当日欠席された方からも、事前に差し入れをいただいたり、私たちふるさとの会を応援してくださる方々のネットワークの広がりや深さを心強く感じました。

(ふるさとの会事務局)



お忙しい中お集まりいただいた大勢のお客さま



自慢の腕を振るう河辺職員



挨拶に立つ佐久間事務局長



職員も日ごろゆっくり話す機会のない方との交流を楽しみました

6.今月のボランティア募集

いつもふるさとの会の活動にご支援ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

ふるさとの会地域生活支援事業部では、台東(リビング)とすみだの二つの地域生活支援センターを中心に、各宿泊所や敬老室の利用者さんとともに毎月一回の合同イベントを行なって参りました。丸一年を迎える来月は昨年第1回目に行った、花見でめめようかと計画中です。桜をぜひ一緒に楽しみませんか？

日時等詳細につきましては、決まり次第お知らせいたしますので、興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

<連絡先> 地域生活支援センター『すみだ』03-5819-3254 (担当:古木)

なお、敬老室日曜開放の特別行事も毎月第3日曜日に昼食会&イベントを行っております。今月は俳句会を行いました。来月は折り紙教室の予定ですので、こちらも是非ご参加下さい。

<連絡先> 城北福祉・労働センター別館『敬老室』03-3801-0377 (担当:秋山)

ふるさとの会ホームページも更新中！ぜひご覧下さい

<http://www.d5.dion.ne.jp/~hurusato/>

発行元: 特定非営利活動法人 自立支援センターふるさとの会

〒111-0031東京都台東区千束4-39-6
TEL:03-3876-8150 FAX:03-3876-7950
E-mail : hurusato@d5.dion.ne.jp
HP : <http://www.d5.dion.ne.jp/~hurusato/>